

## 『虞美人草』 藤尾の孤独

*Junko Higasa 2013.11.20*

藤尾は美人である。彼女は裕福な家に生まれた。そして容貌は…。スタイル形成は生活習慣次第であるが、顔立ちはいくらなんでも自然に急激に美人になるはずはない。すると物心ついた頃から美人である。となるとやはり注目されてちやほやされる。その環境に遺伝と母の影響が重なって 24 歳の藤尾の性格が出来上がる。そのように人の視線を浴びて、玩具のように「嬲られて」きた上に、教育を受けられる環境と才能も備わっている。そこで進歩するのも早い。要するに当時の周囲の女性から比べると抜きん出る条件がそろっているのである。藤尾は子供の頃から自分の言動に人々がどんな反応を示すか認識してきただろう。年頃になれば自分に注がれる男たちの視線や思惑にも気づいただろう。だから冷徹なまでの私の強さがそこから発生したとしても不思議はない。「謙虚」は大概コンプレックスから生まれるものである。藤尾のような条件下では、余程精神修養ができていないと驕りに陥りやすい。またそればかりでなく、人の反応に自分を合わせざるを得ないこともあったろう。おそらく藤尾の性格はそのようにして形成されてきた。そして周りの反応を受け取るたびに、藤尾は自分の意思で抵抗してきたのではないだろうか。それが寄る人を跳ね返さなければやまない強さとなり、その代償として孤独が与えられる。藤尾のように寂しい女はいつの時代にもいる。